

みさき病院 くろさき苑 コミュニティ・マガジン



フォーライフ

For Life

2026
夏号
No.62



七夕に願う、平和な未来

東病棟 介護福祉士 橋本 静香

七夕に合わせて、患者さまと一緒に短冊へ願いごとを書きました。

「元気に過ごしたい」「家族みんなが笑顔でいられますように」など、それぞれの思いが込められた短冊が笹を彩り、温かな雰囲気になっていました。

今年も原水爆禁止運動の時期を迎え、平和について改めて考える季節となりました。

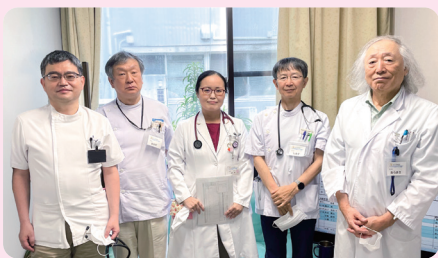
患者さまの中には、「これからも平和でありますように」と願いを書かれる方もおられ、穏やかな日常の大切さを改めて感じました。

世界では悲しい出来事が続いています、誰もが安心して暮らし、笑顔で毎日を過ごせる未来であってほしいと願います。

皆さまの願いも、天まで届きますように。

医 局

院長
矢野 香織



患者様の「いつもの暮らし」を大切に考えながら、外来・入院・在宅と切れ目のない診療を行っています。安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、多職種と連携しながら日々診療に取り組んでいます。

師 長 室

看護部長
武藤 千恵子



師長室は2名体制で頑張っています。各職場と連携し患者様や御家族において質の高い看護・介護の提供を目指すとともに職員の皆様がここで働き続ける喜びを感じられるような職場づくりを看護管理者一丸となって取り組んでいきたいと思っています。

外 来

師長
染谷 芳寛



みさき病院の外来・往診スタッフは、患者様の立場に立った誠実な医療を提供しています。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、スタッフ一同笑顔で丁寧に、日々取り組んでいます。

重度デイケア (みさきの丘)

科長
諸藤 晃一



みさきの丘のモットーでもある「個人に寄り添い、個性を重視した対応」を心掛け日々の生活をご支援させていただきます。患者様、ご家族におかれましても相談しやすい環境設定を心掛けていきます。

私たちの職場

西 病 棟

師長
田上 愛



急性期治療を終えて病状が安定し、療養や医療処置が必要な患者様のための病棟です。患者様の「その人らしさ」と「穏やかな時間」を大切に、寄り添うことを心掛け、多職種と協働しながら看護が提供できるように努めています。

南 病 棟

師長
藤原 由佳



南病棟は回復期リハビリテーション病棟です。大腿骨骨折、脳血管疾患など治療後のリハビリを行っています。患者様が安心して在宅や希望する退院先に戻れる様に多職種連携し一人一人に寄り添い支援を行っています。

東 病 棟

師長
浅原 愛



東病棟は認知症患者様が多数入院しています。多職種でその人に合ったケアを常に検討し、実践しています。患者様を取り巻く環境にも向き合い、退院支援を行っています。病院でもその人の居場所を提供し、寄り添っていけるようにこれからも頑張っていきます。

リハビリ テーション科

科長
荒木 懸喜



リハビリテーション科はくろさき苑・みさき病院を合わせて、理学療法士22名・作業療法士19名、言語聴覚士10名の計51名が在籍しております。リハビリ科職員は予防から在宅まで幅広い分野で活躍しております。今年度もよろしくお願いします。

地域連携室

師長
重富 信子



患者さんや家族と向き合い、想いに寄り添いながら、地域の医療機関、福祉施設、行政機関と連携を図り、患者さんにとっての「自分らしい暮らし」の獲得を目指し様々な支援を行っています。いつでもお気軽に声をかけてください。

コ・メディカル
部門

薬剤科主任
味志 拓



コメディカルは、薬剤科、放射線科、検査科にて構成されております。一つ一つの職場は少人数の職場ですが、それぞれ協力し合いながら日々業務に励んでおります。皆様の丁寧な診療のサポートを心掛けます。何かお困りな事がありましたら、いつでも気軽に声掛けください。

みさき病院
事務部門

総務課 課長
坂口 誠



皆様が来院された際、最初に対応させていただくのが私たち事務職員です。安心してご来院いただけるよう、笑顔で親切・丁寧な対応を心がけています。ご不明な点やお困りごとがございましたら、いつでもお気軽にお声かけください。

栄養科

科長
下川 千鶴



栄養科では、安心・安全で美味しい食事づくりを大切に、季節感や栄養バランスにも配慮した献立を提供しています。毎日の食事を通して、患者さまの健康と元気を支えられるよう、職員一同まごころを込めて取り組んでいきます。

をご紹介します！

くろさき苑
事務課

事務長
山田 瞳



くろさき苑事務課は、くろさき苑内の総務、経理、介護請求等の事務業務及び入退所に関する支援相談業務を、事務長以下6名で行っています。ご相談はいつでも受け付けています。よろしくお願いいたします。

療養棟 1 階

師長
猪口 康代



療養棟1階は、認知症専門棟です。認知症の利用者様に対して、「寄り添うケア」を目指しています。介護を必要とするご利用者の自立を支援し、ご家庭への復帰を目指します。医師による医学管理のもと、看護・介護といったケア、作業療法士や理学療法士や言語聴覚士によるリハビリ、栄養管理などの日常サービスを連携し、提供しています。

療養棟 2 階

科長補
瀬戸口 朋円



療養棟2階では、今年の1月にインドネシアから技能実習生2名を受け入れています。療養棟職員も初めての経験ばかりで戸惑う事もありますが、実習生と共に日々成長していき、利用者の方々に、その人らしく暮らせる為のケアを実践していきます。

通 所

科長
小森 ルミ子



皆さんこんにちは！くろさき苑通所リハビリです。私たちは、利用者様・ご家族様方が楽しく通いながら専門的なケアやリハビリを受け、その人らしい在宅生活が送れるよう支援しています。



暑い季節にピッタリ/ ブルーベリーミルクアイス



栄養科

野田 かおり

材料 (4人分) 1人前 234kcal

【アイスクリーム】

- 卵黄……………2個
- グラニュー糖……60g
- 牛乳……………150ml
- 生クリーム……120ml
- バニラエッセンス…2滴
(なくてもよい)

【ソース】

- 冷凍ブルーベリー…30g
- グラニュー糖……20g
- 水……………10cc
- 粉ゼラチン………1g
- 練乳……………10g

作り方

アイスクリーム

- ① 鍋に卵黄とグラニュー糖を入れ、白っぽくなるまでよく擦り混ぜる。
- ② 牛乳をカップに入れ、レンジ600wで1分温める。
- ③ ①に②を加え、よく混ぜる。
- ④ ③をゴムベラで絶えず混ぜながら弱火で7分。とろみがつき始めたら火を止める。
- ⑤ ④の粗熱をとり、バニラエッセンスを加える。
- ⑥ ⑤に生クリームを加え、よく混ぜ、タッパに移し冷凍庫で冷やす。
- ⑦ ⑥を1～2時間おきに混ぜる。これを繰り返し、アイスクリームを作る。

ソース

- ① 冷凍ブルーベリーを大きめのラップに包み、レンジ600wで30秒解凍する。
- ② ①を手で潰し、カップに移し、グラニュー糖と水と粉ゼラチンを入れて混ぜる。
- ③ ②をレンジ600wで1分温め、粗熱をとり、冷蔵庫で冷やす。

アイスクリームが完成する直前にソースと練乳を混ぜ込む。



コメント

濃厚なアイスを作りたい時は、乳脂肪分が高い生クリームを。ソースのアレンジは、お好みのフルーツで。上白糖でも作れますが、アイスにはグラニュー糖がおすすめです。保存料が入っていないので、1～2週間で食べきりましょう。

ポイント

時短で作りたい人は、ジップロックに材料を入れ、別の大きな袋に氷500gと塩大さじ8を入れ、外側から揉むと短時間で固まります。



恒例の「秋まつり」を、今年も10月中旬以降の土曜日に開催いたします。現時点では気候の関係で日程が定まりません。確定次第、お知らせいたします。



薬局 情・報・カ・プ・セル

最近問題となっている マンジャロ



みさき病院薬剤科 薬剤師 味志 拓

適応として認められていないダイエット目的での使用で問題となっているマンジャロですが、まず現在日本で認められている適応は糖尿病のみとなっています。そして、医学的には本来減量する必要はない人達が使うことによって副作用がおもめにでたりします。適正使用のもとで入院する必要がある副作用が出た場合には医薬品副作用被害救済制度という補償がうけられますが、適応外使用ではこの補償はありません。また、適応外で副作用が出た場合の治療も保険診療とならない場合があります。

もちろん、医学的に減量が必要と判断された場合には他に適応する医薬品は存在しますので、まずは対応している医療機関に相談のうえ、食事療法や運動療法をおこなったうえでの使用となりますので、本当に必要とされているかには正しい使い方を使っていただければと思います。